



大松工業株式会社

製造業
(塗装)

創業50年を超える同社では、自動車部品や建材等の製品塗装を幅広く手がけている。設備の多くを内製化しており、「塗装で社会を彩る」をテーマに、顧客ニーズへの対応だけでなく省エネ等の社会課題についても解決のための改善活動を日々行っている。



事業者概要 (2022年7月現在)
代表者 代表取締役社長 松川 長久
所在地 大阪府八尾市太田新町5-38
電話番号 072-949-0854
従業員数 36名(パート従業員含む)
主な事業内容 製品塗装全般 (金属・非金属部品等)
URL <https://daimatsu.cc/>

取組の背景

- 塗装前工程に使用する洗浄液の加温のためにLPガスボイラーを使用しており、**大量のガスを消費していた**
- ボイラーから排出されるCO₂や焼付塗装を行う際の廃熱など、**環境負荷の低減に向けて改善を模索していた**

#製品塗装 #ヒートポンプ #ハイブリッド運用
#トップダウンの改善 #中小企業の強みを生かす

取組の内容

社内設備の運転状況を計測し、効率を意識した日々の取組でコツコツ省エネ

- 計測器を用いて社内設備のデマンド管理を実施し、課題の発見・解決を迅速化
- 金属加工や金型製作で培った高い対応力を活かし、課題解決のための社内設備の省エネ化を適時実施

➔ エネルギー使用状況の見える化が、脱炭素の実現に向けた取組の第一歩



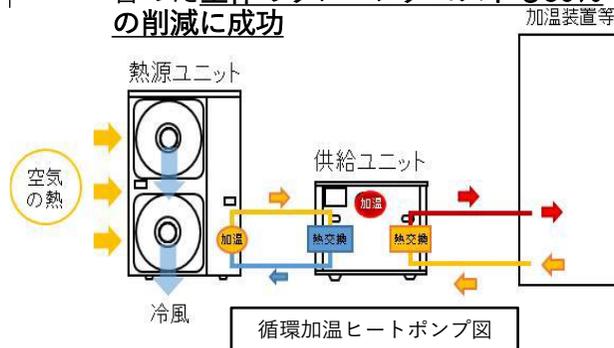
ガスボイラーとヒートポンプのハイブリッド運用でCO₂排出量を削減

循環加温ヒートポンプを導入し、CO₂排出量とコストを削減

- ガスボイラーのみの運用から、循環加温ヒートポンプを新たに並列導入し、CO₂排出を抑制
- ガスボイラーとヒートポンプのハイブリッド設備を独自に開発・運用することにより、ボイラーの出力を最小限に抑えつつ、加温が追いつかない場合には加熱能力の高いガスボイラーで対応

導入前の年間CO₂排出量約38トンが、**約25トン (ガス22トン、電気3トン)**

➔ **になり、大幅に削減**
ガス使用料金を**40%削減**し、電気代を含めた**全体のランニングコストも30%の削減に成功**



社長からのトップダウンで課題に即時アプローチ

- 社長がリーダーシップを発揮しトップダウンで改善を実行することで、社員も意欲的に活動に取り組んでいる
- KES (京都環境マネジメントシステム・スタンダード) の登録事業者となり、設定目標に基づいて古紙・ペットボトルの再資源化や地域の清掃活動等の環境保全活動を実施

➔ 年内には、**電力を100%再エネ由来のものに代替し、社内の電気をCO₂フリーに転換**
また、**未利用となっている廃熱の活用等**、工場内のさらなる脱炭素化を進めていく方針

← 設計から導入後のフォローまで、電力会社が一貫してサポート